

平成 20 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野

(オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術)

I T 機器等グリーン化技術小WG (第 2 回)

議事要旨

1. 日時：平成 20 年 12 月 18 日 (木) 10:00～12:00
2. 場所：三菱総合研究所 大会議室
3. 議題
 - (1) 第 1 回小 WG 議事概要
 - (2) 第 1 回小 WG 以降の検討経緯について
 - (3) 実証方法の概要と技術の絞込み
 - (4) 実証方法の詳細
 - (5) 実証結果の表示方法について
 - (6) 今後の検討スケジュールについて
4. 出席検討員：市川晴久 (座長)、植田隆、臼井規善 (上笠健検討員の代理)、朽網道徳、
佐々木言、高原明彦、松野泰也、村田俊之、森川泰成
欠席検討員：太田完治
5. 配布資料
 - 資料 1 第 1 回小 WG 議事録
 - 資料 2 第 1 回小 WG 以降の検討経緯
 - 資料 3 実証方法の概要と技術の絞込み
 - 資料 4 実証方法の詳細 (案)
 - 資料 5 実証結果の表示方法
 - 資料 6 今後の検討スケジュール (予定)
 - 参考資料 1 IT 機器等の消費電力・排熱量
 - 参考資料 2 既存の認証制度・評価指標

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 第1回小WG議事概要及びそれ以降の検討経緯について

- ・ 事務局より資料1、2に基づき、第1回小WG議事概要及びそれ以降の検討経緯について説明がされた。

(2) 実証方法の概要と技術の絞込み

- ・ 事務局より資料3に基づき、実証方法の概要と技術の絞込みに関する説明がされた。
- ・ 本年度の検討の中では、カテゴリー(A) (サーバー、ストレージ等) に絞って実証試験要領を検討することが確認された。

(3) 実証方法の詳細

- ・ 事務局より資料4に基づき、実証方法の詳細に関する説明がされた。
- ・ 実証機関の実施事項として、電力測定の方法に関する視点を加えられたいとの意見を頂戴した。
- ・ 申請者の負担の削減の観点から、既存の他の実証結果も活用できるような仕組みが望まれるとの意見を頂いた。
- ・ 比較対象製品が手元にない場合の対応が必要との意見を頂いた。
- ・ ユーザーとしてはどのような視点で優れているのかを判断できるような情報が必要であるとの意見を頂いた。
- ・ 指定ツールの候補としているSPECでも評価できない観点をご指摘頂くとともに、任意ツールの審査の視点が重要であるとの意見を頂いた。
- ・ 各ベンダーの持っている測定ツールは可能な範囲で公開できるとの意見を頂いた。

(4) 実証結果の表示方法について

- ・ 事務局より資料5に基づき、実証結果の表示方法に関する説明がされた。
- ・ 消費電力量や電力効率では評価できない冗長性に対する評価のあり方について意見を頂いた。
- ・ 用途による要求性能の違いに関する意見を頂いた。
- ・ 一社単独でなく、複数企業が参加し、ラベルを活用しようとする仕組みが重要であるとの意見を頂いた。

(5) 今後の検討スケジュールについて

- ・ 特になし。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)